

特集

人間 嘉納治五郎を語る

目次

- グラビア …… 01 ～ 02
- 特集 人間 嘉納治五郎を語る
「第2回 「精力善用」と「自他共栄」
～嘉納治五郎が求めた柔道の理念～ …… 03 ～ 08
- 平成 29 年 「追悼のつどい」 …… 09
- 平成 29 年度 茗溪会地域組織表 …… 10
- 筑波大学学生生活動支援事業 …… 11
- 第 43 回 宿舎祭 (やどかり祭) を終えて …… 12 ～ 13
- 茗溪・東西南北 …… 14 ～ 15
- 著書紹介 …… 15
- 茗溪会 公開講座 藤原教授の英語のはなし 第 15 弾
「英語の不定数量表現は面白い！」藤原保明 …… 16 ～ 17
- 平成 29 年度『茗溪フェロー』協力者ご芳名 …… 18
- 平成 29 年度『茗溪フェロー』ご協力をお願い …… 19
- 季刊誌『茗溪』 正月号に誌上交流広告掲載ご協力をお願い …… 19
- 筑波大学はいま …… 20 ■ 茗溪学園だより …… 21
- 桐の葉のつどい …… 22 ～ 23
- 平成 29 年春の叙勲他 (追記) …… 22
- 追悼録 …… 24 ■ 広報 …… 25
- 表紙のことは …… 25 ■ 編集後記 …… 25

茗溪

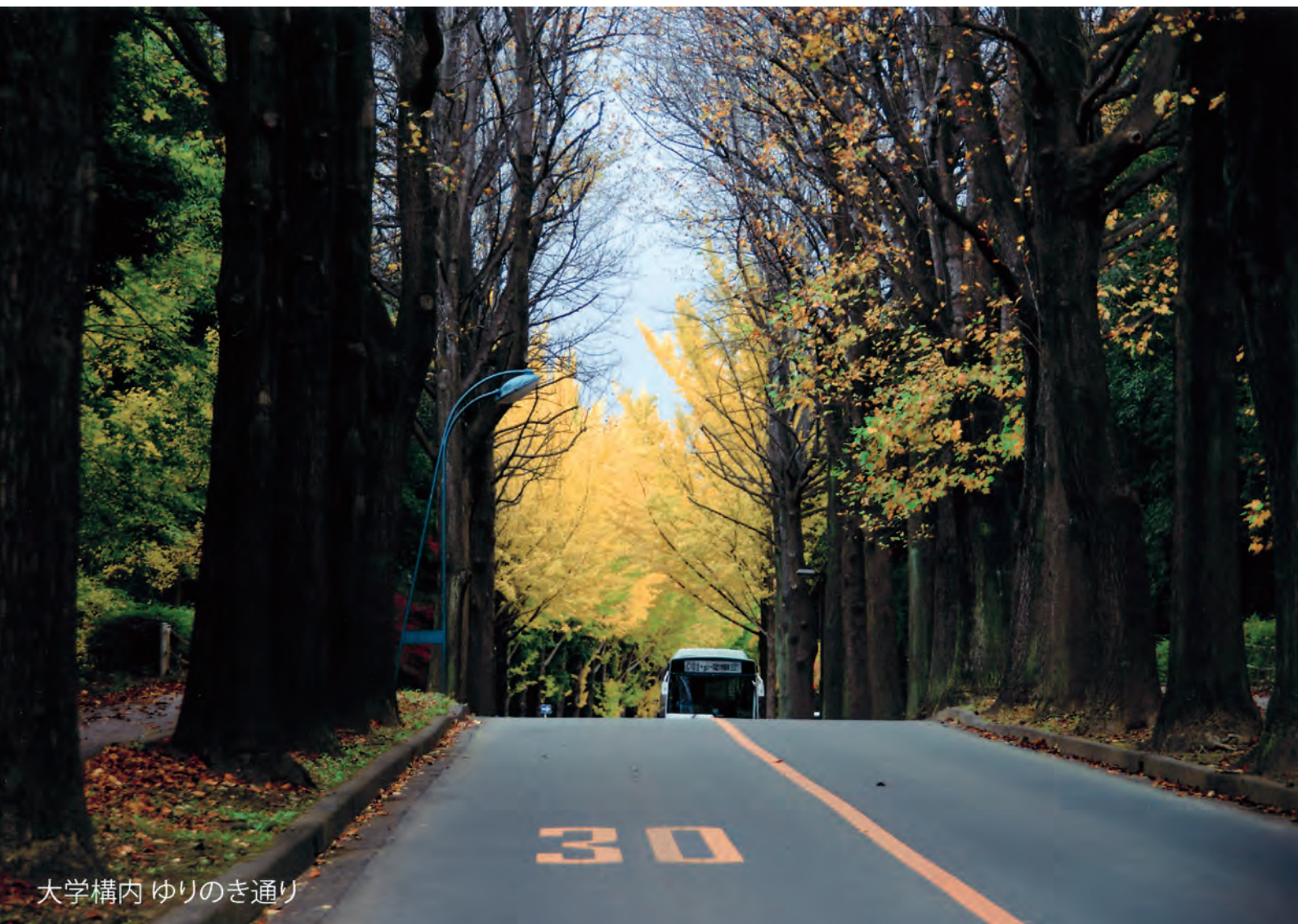


秋

2017

平成 29 年

no.1095



Juchheim
SEIT 1909

日本のバウムクーヘンの歴史は
ユーハイムから始まりました。



まっすぐなおいしさ

日本で初めてバウムクーヘンが焼かれたのは1919年(大正8年)のこと。
創始者カール・ユーハイムの焼きあげたバウムクーヘンへの想いは
今も変わらず、職人から職人に受け継がれています。

www.juchheim.co.jp/juchheim
〒650-0046 神戸市中央区港島中町7-7-4

ユーハイム®

お客様係 TEL 0120-860816

受付時間：平日(月～金) 9:30～17:00(年末年始を除く)
携帯電話・PHSからはご利用いただけません。

食の提供 (アウトソーシング)

社員食堂 / 寮・研修所・保養所・研究施設 /
学生食堂 / レジャーレストラン / カフェ

お仕事に、勉強にがんばる皆様を食事面からサポートいたします。
空間づくりなども含めた委託運営を行っています。



学生食堂

～学校ブランドを高める空間づくり～

学生の皆様にとって、大切な思い出の一つになる学生食堂。
学校それぞれの教育方針に沿って運営を行いながらも、
学生層に合わせ、トレンドを意識したメニューをご用意。
カジュアルさとおいしさで好評をいただいています。
また、売店の運営やスクールバスの運行など、トータルでの
サポートも可能です。

寮・研修所・保養所・研究施設

～やすらぎと栄養バランスを考えた食事提供～

各施設の運営方針やご利用者の年齢層に応じたメニューを
提供。栄養バランスを考えた食事を提供するだけでなく、
研修施設では研修期間や日程などの利用状況に対応した運営を
心がけ、「食」を通じて家庭にいるような安らぎを提供すること
を目指しています。食事以外にも、施設管理全般にわたる管理
業務も行っています。



はぐくむ、大切なことすべて
SHIDAX

シダックスフードサービス株式会社

〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町1-17-10 シダックス新宿セントラルロード
TEL.03-6632-5052 (代表)

KAIT

力と自信がつく教育で 「考え、行動する人材」を育成します。



■工学部

機械工学科(航空宇宙学専攻含む)
電気電子情報工学科
応用化学科
臨床工学科

■創造工学部

自動車システム開発工学科
ロボット・メカトロニクス学科
ホームエレクトロニクス開発学科

■応用バイオ科学部

応用バイオ科学科
栄養生命科学科[管理栄養士養成課程]

■情報学部

情報工学科
情報ネットワーク・コミュニケーション学科
情報メディア学科

■看護学部

看護学科

理事長 中部謙一郎

常務理事 河野 隆二(S47農)

監査室 矢野 正人(S53院修農)(神奈川茗溪会 会長)

教職センター 大畑多津雄(S52理 数)(同 副会長)

教職センター 望月 正大(S51理 数)(同 副会長)

早期学生支援室 掛原 豊(S54農林学類)



神奈川工科大学
KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030
TEL.046-291-3002 URL:http://www.kait.jp/

特集

人間 嘉納治五郎を語る

(第2回)「精力善用」と「自他共栄」
～嘉納治五郎が求めた柔道の理念～



洋装の嘉納治五郎



講道館柔道発祥の地の碑



茗溪会理事長 江田昌佑さんと筑波大学準教授 山口 香さん

筑波大学の学生活動に支援



学生団体に助成金を贈呈する江田理事長



助成金の目録贈呈
永田 筑波大学学長 (左) 江田 茗溪会理事長 (右)

追悼のつどい
平成29年9月2日(土)
於茗溪会館



来賓挨拶 松村筑波大学副学長



江田昌佑理事長の追悼の辞



一般社団法人 茗溪会「追悼のつどい」

公開講座 藤原保明先生
藤原教授の英語のはなし 第15弾
「英語の不定数量表現は面白い！」(P.16～17参照)



受講風景



藤原保明先生

〔第2回〕

「精力善用」と「自他共栄」

～嘉納治五郎が求めた柔道の理念～



1882年(明治15年)、「柔道」は嘉納治五郎によって東京下谷区永昌寺のわずか12畳の狭い道場「講道館」で誕生しました。

明治時代の初期、わが国の若者たちが稽古に取り組んでいたのは各流派の伝統的な「柔術」で、嘉納治五郎も最初は武術としての「柔術」を習っていました。

しかし、彼は単なる武術としての「柔術」に飽き足らず、「柔術」を改良することにより、「知育」「德育」「体育」の要素をもつ新しい武術である「柔道」を創始したのです。

そして嘉納治五郎の柔道は、彼のもう一つの願いであった「柔道の国際化」でも大きく花開き、いまでは柔道は世界で最も盛んなスポーツに育って、オリンピックでもパラリンピックでも大勢の観客が押し寄せる人気競技になっています。

そこで、この特集の第2回では「嘉納治五郎がなぜ柔道を創始しようと考えたのか」また「嘉納治五郎の目指した柔道とはどのようなものであったのか」を紐解きながら、日本のスポーツから世界のスポーツに発展した「柔道」のこれからの課題などについて話し合っていました。

話し合っていたのは、筑波大学准教授で全日本柔道連盟監事の山口香さんと茗溪会理事長の江田昌佑さんです。

【嘉納治五郎、柔術修行を始める】

江田 今回は嘉納治五郎の目指した柔道とはどのようなものであったかを探ってまいります。まず、嘉納治五郎がなぜ柔道を創始するようになったのか、またそのきっかけは何であったかというところから話を始めたいと思います。

嘉納治五郎が柔術修行を始めた動機

山口 嘉納先生は頭脳明晰で、学業においては他に遅れ

をとることはなかったのですが、その頃は、体が大きいとか、強いということの方が重んじられていて、体も小さく肉体的には人よりも劣っていた嘉納先生はいつも風下に立たなければならなかったようです。

そのため、嘉納先生も自ら述べているのですが、「小さい時から負けず嫌いなところがあって、学業だけでなくそういう部分でも自分は一番になりたい」という気持ちが強くて、たとい力がないものでも力のある人に勝てる方法があると聞いて柔術に興味を持たれたようです。

でもお父様は「これからはそういう時代ではない」と考えていたようで、嘉納先生の柔術を習いたいたいという気持ちには必ずしも賛成していませんでした。嘉納先生は1877年(明治10年)に東京大学に入学した後、お父様を説得し、福田八之助の天神真楊流柔術に入門することになったのです。

江田 当時の武術としては柔術だけでなく剣術も弓術もありましたが、嘉納さんが柔術にひかれたのは、生家が武家ではなく、酒造りの家であったということも影響しているのではないかと思うのですが、如何でしょうか。

山口 武術の中でも、剣術や弓術は武家のたしなみとされていましたが、柔術は武器を持たずに闘う武術ですから、「庶民の武術」という受けとめ方もされていたので、それで柔術を選んだということもあるかもしれません。

師匠たちを質問詰めにする嘉納治五郎

江田 天神真楊流は自分で探して入門されたようですが、ここでの教え方というのは、昔と同じように「自分で盗め」とか「投げられて覚えよ」というようなものであって、嘉納さんはそういう教え方にはずいぶん不満があったようですね。

山口 柔術修行を始めた嘉納先生は、投げられた時に「この技はどうやればいいのかですか」とか、「この技の理屈はどうなっているのですか」と質問をします。

ほかの弟子たちはそのような質問をしませんから、師匠の福田八之助さんも「こいつは何でこんなことを聞くのだ」「これまでの弟子たちとちょっと違うぞ」と見ていたようです。

また、嘉納先生は教えを受けていたほかの先生方にもいろいろ質問するのですが、「答えが一度も返ってきかたがない。でも答えがなかったことが自分の柔術研究につながっていった」と述べています。

嘉納先生は「技には必ず理屈がある。そして理屈があるのに、それぞれの先生によって教え方が違うのは変ではないか」「理屈というのはどのような技に対しても当てはまるものでなければならぬし、そういう理屈をきちんと解明して、誰にでもわかるように説明できなければならぬ」と考えていたので、それがしつこい質問になっていったのです。

江田 嘉納さんは柔術の修行の過程でわからないことは師匠たちにしつこく質問を続けましたが、一度も答えが返ってこなかった。

でもそのことが、逆に嘉納さんの柔術の研究につながり、柔術とは違う柔道というものがつくられていったというところは、柔道誕生の物語としては面白い話ですね。

嘉納治五郎、見世物ではない本物の柔術をめざす

江田 嘉納さんが柔術修行を始めていた頃、時代は幕末から明治に代わり、柔術家は食うに困っていて、柔術



【江田昌佑さんの略歴】

1955 東京教育大学体育学部卒業
1977 筑波大学教授
1992 筑波大学副学長
1996 鹿屋体育大学学長
現在、一般社団法人若溪会理事長



【山口 香さんの略歴】

1987 筑波大学体育専門学群卒業
1989 筑波大学大学院体育学研究科修士
2008 筑波大学人間総合科学研究科准教授
2011 全日本柔道連盟監事
専門は柔道方法論

が見世物のようになっていたということも聞いています。

山口 明治という新しい時代になり、社会の価値観も大きく変化しました。

強さを求めてもそれをどこで生かすことができるのか。闘いのある時代であれば、強さは目標になりえたし、この武術は素晴らしいということを主張することもできました。

しかし、新しい時代は日本人どうしが闘う時代ではなくなっていましたし、西洋の文化が入ってきて、武器も刀や槍から鉄砲やピストルにとってかわってしましたから、素手で闘う柔術も生き残りが難しい時代になっていました。

嘉納先生はそういう時代にあつて、柔術に対する見方、価値観を大きく変えていったのです。

「柔術は相手を倒すことが目的ではない。技を身につける過程の中で、自己を鍛錬し高めていけば、生きていく上でのすべてのことに応用がきくんだ」というのが嘉納先生の考え方です。

つまり教育的価値というか、人づくりというところが柔術の新しい価値を見出されたのです。

しかし当時は、嘉納先生のように柔術の教育的価値に気づく人はいなかったため、柔術家の多くは、「柔術はこんなに強いんだ」ということを見せて、「強くなりたい人は入っていらっしやい」といった呼びかけをするような見世物的な柔術から抜け出せなかった時代でもありました。

【講道館柔道の創設】

江田 山口さんの話にあつたように、柔術の教育的価値を見出した嘉納治五郎は、1882年(明治15年)東京下谷区の永昌寺で、講道館柔道を創始します。

この時の道場の広さはわずか12畳。最初の年の入門者も9名にすぎなかったようですが、このように小さく誕生した講道館柔道が大きく発展するきっかけになったのは、1885年(明治18年)から始まった警視庁の武術大会でした。

この大会は柔術の各流派が参加する大会でしたが、嘉納さんと親しかった勝海舟の後押しもあつて講道館も参加するようになり、1888年(明治21年)頃の大会で講道館柔道は他の流派を打ち負かして優勝してしまします。

こうした活躍により講道館柔道の実力が評価され、名前も知られるようになるのですが、道場の中で稽古しているだけでなく、他と競い合つて素晴らしい結果を残したということも講道館柔道が大きく発展する要因になったのではないのでしょうか。

山口 嘉納先生はそういう意味では大変な戦略家でもありました。その頃はまだまだ多くの柔術の流派がありましたから、「ただ理屈を言つていても人は受け入れてくれない」と考え、メディアも巻き込んで「講道館柔道」というのは理屈にかなつていて、こんなに強いんだ」ということをアピールされたのだと思います。

そして、「理屈でもかなわぬ」「強さでもかなわぬ」ということを示すことにより、講道館柔道の今に続く発展の礎を築いたので



講道館柔道発祥の地の碑

「柔術」を「柔道」という名称にしたのはなぜか

江田 嘉納治五郎は講道館を創設するにあたり、「柔術」ではなく「柔道」という名称を使用しました。

そこには嘉納さんの新しい柔術を始めるにあたっての強い思いが感じられます。

山口 嘉納先生は、名前を変えることによって「柔道」は伝統的な「柔術」から脱し、「柔術」から進化したものをつくりたいと考えていたのだと思います。

そして、もう一つの理由としては、嘉納先生は教育者でしたから「道」という言葉に魅力を感じていたと思います。

嘉納先生が目指されたのは「文武両道」です。

「尊皇精神だとか、心技だとか、道徳的なことなど、人間として学ばなければならぬことは、道場だけでなく技術練習をしても身につくものではない。それは別のところで教えなければならぬ」ということをおっしゃっています。

「柔道の技術で心と体を鍛えると同時に、「文」の方もきちんと教えていかなければならない。それが人づくりになんだ」ということをおっしゃっているのです。

嘉納治五郎が求める柔道修行のあり方

山口 嘉納先生は柔道修行のあり方として、四つをあげています。

一つは、「形」です。「形」をしっかり覚えなさい。そこには理屈がすべて入っている。」と言っています。二つ目は「乱取り」です。これは真剣勝負、試合に通ずるものです。

三つ目は、「講義」です。運動生理学的なことや心理学的なこともしっかり学ばなければならぬと言っています。そして四つ目は「問答」です。かつて嘉納先生が柔術の修行をしていた時に、「わからないことを先生方にくら質問をしても答えが返ってこなかったばかりか、問答すらしてくれなかった。そうであったはならない。指導者自身が学ぶためにも問答は必要

のだ」と述べています。

江田 山口さんの話を聞いていても、嘉納さんは、柔道の修行を通じて、指導者を育てることに力を入れていたということがわかります。

柔道を普及させていくためには良き指導者をつくるということから始めなければならぬと最初から考えていたのですね。

山口 間違った人に教えられると、嘉納先生の柔道の理念や考え方が正しく伝わりません。

柔道は「投げる」「押さえ込む」「倒す」という技術を教えますから、教育的な価値をセットで教えていかないと、技を悪用されたり、柔道そのものが否定されてしまうという恐れもあります。

だから嘉納先生は、柔道の修行においても、柔道の理念を正しく理解した指導者を育てたいと考えていたのだと思います。

嘉納治五郎の目指す柔道とは・・・

江田 嘉納さんの目指す柔道は、単なる武術ではなく、「知育・徳育・体育」のすべてを包含したものですから、「柔道は学校教育でも役に立つ。子どもや若者を育てるのに有益である」ということも主張されていました。

山口 柔道が、「知育・徳育・体育」のすべてを含んだ武術であるという考え方は、必ずしも独自のアイデアではなく、当時のヨーロッパで普及していた思想の影響も受けていました。

ただ嘉納先生の目指す柔道の理念は、そうした西洋の思想の借りものではなく、ご自身がやってこられた柔術の修行から、「人間は体と文と徳が三位一体となって形づくられる」ということを実感し、柔道が人間教育に最もふさわしいと確信されたのだと思われます。

そして、嘉納先生が「知育・徳育・体育」を主張したもう一つの理由は、当時は柔道のような格闘技系のスポーツは、どうしても「強さをめざして体を鍛える」ということに重きが置かれていたので、「柔道は体も鍛えられるけれども、それだけではないんだよ」とい

うことをあえて強調されたのではないかと思われま

【学校教育への柔道の普及】

江田 嘉納治五郎は1889年(明治22年)、まだ高等師範学校の校長になる前ですが、大日本教育会の招きで文部大臣榎本武揚らの前で講演を行い、柔道は体育(身体の鍛錬)、勝負(武術)、修心(精神修養)としての価値があるので、至急に全国の中等学校に採用しよう説いています。

そして、1893年(明治26年)に高等師範の校長に就任すると、附属中学校に柔道部をつくりま

また、高等師範では、文科、理科にかかわらずすべての学生に柔道をやらせていましたので、その学生たちが卒業して全国の学校で教師になって、柔道を普及させていきました。

山口 でも、嘉納先生は、柔道は教育の一環であると考えていたので、学校教育を通じて柔道の専門家を育てようとは考えていませんでした。

柔道の試合は、専門家の試合と一般の人の試合を分けていましたし、むしろ嘉納先生は、学校教育の場では「専門家を育てるのではなく、柔道をやれば必ず心身の発達に役立つのだ」ということを重く見ていたと思われま



少年を指導する嘉納治五郎
(講道館所蔵)

江田 こうしてみると、嘉納さんの柔道の理念は「柔道を通した人間教育」と見るのが一番理解しやすいのではないかと思われます。

山口 私たちはいま、わが国の柔道人口が減少していることもあって、全日本柔道連盟も含めて、どうやって柔道を盛り上げていったらいいかという話を話合っているのですが、こうした検討の際に重要なのは「嘉納先生の柔道の理念に立ち戻って考える」ことだと思います。

私自身は嘉納先生が目指したように「柔道を通して人間教育をしていく。それができれば強さを目指さなくてもいい」と思っているのですが、柔道に携わっている人の多くは、どうしても強い人間、強いアスリートをつくろうとしてしまいます。でもそのことが、柔道を一般の人から遠ざけてしまい、柔道の普及・発展を妨げている面もあるということも知っておかなければならないと思っています。

【女子柔道の始まり】

江田 次に女子柔道の話に移りたいと思うのですが、嘉納さんは「柔道こそ女子に向いている」と言っていて、早くから女子にも門戸を開きました。それはどうしてかということから嘉納さんの女子柔道に対する考え方を探ってみたいと思います。

嘉納治五郎はなぜ女子にも門戸を開いたのか

山口 当時は男性中心の社会でありましたが、嘉納先生は「女性が健康で、体力もあり、活力がみなぎっていることが国益にも資することになるし、それがこれから世の中のありようである」と考えていて、ではそのためには何をしたらいいかということから、女性にも柔道の門戸を開くことを構想したようです。

この時代の女性の体力づくりは体操が中心でしたが、体操は同じことの繰り返しですからすぐ飽きてしまいます。だから嘉納先生は「人間はどんなに効用がある

といわれても面白くなければやらないし、長続きしない。それに比べると柔道は攻撃・防御などさまざまな形があつて面白いし、やりようによっては女性でも無理なくできる」と考え、1893年(明治26年)に初めて女性の門下生を受け入れます。

しかし嘉納先生は、女性に柔道を普及させていくためには、女性の指導者を育てなければならぬと考えていましたから、入門させる対象も、女学校の生徒や女子高等師範の生徒などに絞り、門戸を狭くしてスタートしたようです。

江田 女子に柔道を教えるにあたっては、嘉納さんも極めて慎重で、「形」を中心とした指導を行い、乱取りもやらせなかったし、試合もさせなかったと聞いています。そして、礼儀や考え方、言葉遣いなど、女性として身につけなければならないことについても丁寧に指導をしたようです。

山口 当時は、女性が体操をしたり、足を見せたり、自転車に乗ったりするだけでもいろいろ言われた時代ですから、嘉納先生も「講道館で教わっている女性たちは、こんなにしとやかで、こんなに礼儀正しくて、しかも柔道の技は素晴らしい」というモデルをつくるためにも、慎重に門下生を選び、丁寧に指導したのではないかと思われます。

江田 私も嘉納さんのお孫さんにあたる鈴木つね子さんにお話しをうかがう機会があつたのですが、嘉納さんの教え方は「形」が中心で、試合はさせられなかったし、礼儀作法にも厳しかったですと話して



型を女子に教える嘉納治五郎
(講道館所蔵)

いました。

山口 女性に試合をさせなかったということについての嘉納先生の考え方は「女性に柔道をさせたのは、健康や体力を伸ばすためであるのに、試合となると人間は欲が出て勝ちたいという思いで無理をしてしまう。試合をさせることにより、健康を害したり怪我をしたりしたら本末転倒である」というもので、これは決して女性を差別しているのではなく、逆に女性を守るために考えられたことだったので。

「精力善用」と「自他共栄」という言葉



自他共栄の書
(講道館所蔵)

江田 ここまで柔術修行の時代から講道館柔道を創始し、柔道の普及に努めてきた嘉納治五郎の足跡をたどってきましたが、ここで嘉納治五郎の目指した柔道の理念である「精力善用と自他共栄」という考え方について、もう一度押さえておきたいと思っています。

山口 嘉納先生が講道館柔道をつくられた根底には「柔術には理屈や根本原則がなかった。柔術が何を目指しているのかという理屈を明解に示せなかった」という思いがあつたのだろうと思います。

そして永年の研究を経て、「精力善用」という言葉にこそ柔道の理屈や根本原則があるのだと気づいたのだろうと思うのです。

つまり、「精力善用」とは心身の力を自分の目的に向かって最も有効に活用することであつて、それを指すのが柔道であるという考え方です。

しかし、自分の目的の実現にばかりに力を入れると人間は必ずぶつかります。目的が同じで、「私も自己実現したい」「私も自己実現したい」と主張すれば必ず争いが起こります。

だから、「精力善用」という考え方は「自他共栄」という考え方とセットになる必要があるのです。



嘉納先生は、「精力善用」と「自他共栄」という考え方がセットになることにより、平和な社会をつくることができるし、一人一人の間も完成に近づくことができると考えたのだと思います。

【柔道の国際化】

嘉納治五郎の「柔道世界連盟」構想

江田 当時、柔道はドイツ、イギリス、フランスなどヨーロッパを中心に盛んになりました。

そのため嘉納さんは、柔道の理念を正しく伝えていくためには国際的な組織が必要であると考え、「柔道世界連盟」という構想も温めていたようですが、この構想の実現にはかなり慎重であったようですね。

山口 嘉納先生は柔道の国際化は自分の使命であると考え、1933年(昭和8年)に新聞記者の取材に応じて「柔道世界連盟」という構想を発表しています。

この構想は、当時ヨーロッパではドイツとイギリスが柔道をめぐって主導権争いをしていたのですが、その両者の間を取り持って、日本の講道館に最高本部を置き、嘉納治五郎が総裁となるという計画でした。

そして「柔道の精神は、世界平和を理想とする国際精神に最も合致するので、柔道世界連盟ができれば、日本を盟主とする本当の国際連盟ができる。英米仏をはじめ、インド、アフガニスタン、エチオピア等の諸国も加わるようになる」ということも語っていました。

た。

しかし、世界情勢は風雲を告げるようになり、1936年(昭和11年)に行われたベルリン・オリンピックはナチ・オリンピックと呼ばれるようなナチョリズムが前面に出てきた国威発揚の場と化してしまい、それは嘉納先生の目指すオリンピック精神とも、柔道精神とも全く違うものになってしまいました。

そのため、嘉納先生は「柔道がそういう動きに巻き込まれてはいけない。柔道世界連盟の設立もまだその時期ではない」と考えたのではないのでしょうか。

江田 私もそう思います。

ナチョナリズムが高揚してきたその頃の世界情勢の下で柔道世界連盟の構想を進めれば、柔道もオリンピックと同じように国威発揚の場に利用される恐れがありましたから、嘉納さんは、それは自分の目指す柔道の国際化ではないと考え、途中からかなり慎重になつていったのだと思われま。

山口 嘉納先生が、途中から柔道世界連盟の実現に慎重になったもう一つの理由として考えられるのは、その頃、東京にオリンピックを招致するという活動に全力を傾けて取り組んでおられたので、「まず、アジアで初めての東京オリンピックを世界平和に貢献するよいうな理想的なオリンピックにしたい。そして、その大仕事が終わった後に自分がリーダーとなつて柔道の国際化に取り組むのだ」という筋道を立てておられたからではないかと思うのです。

世界柔道連盟の設立

江田 第2次世界大戦が終わる1951年(昭和26年)に、ヨーロッパが中心になって国際柔道連盟が設立されます。しかしこの設立の時、わが国はまだ参加していませんでした。

山口 この国際柔道連盟というのは、ヨーロッパ柔道連盟が中心になって1951年の7月に発足した組織で

す。当初、講道館の館長であった嘉納履正さんにもぜひ来てほしいという要請もあったようですが、戦後まだ6年という時期で国内的にはさまざまな課題を抱えていたという事情もあって参加を見送ります。

そしてわが国は翌年になってから参加することになります。実はそのことが国際柔道連盟におけるわが国の位置づけが微妙というか難しくなっている遠因になっているのではないかと私は思うのです。

つまり国際柔道連盟はヨーロッパ柔道連盟が中心になって作った組織ですから、参加が遅れたわが国は、出来上がった組織に入れてもらったという形になつてしまったのです。

江田 私もこの話を聞いた時、「わが国はなぜ国際柔道連盟に入れてもらおうという形になるのか」「柔道の本家であるわが国がなぜリーダーシップが取れないのか」と憤慨した覚えがあります。

山口 嘉納履正さんも、国際柔道連盟への参加を求められた時に、わが国の事情で行くことはできなかったけれども、国際柔道連盟という組織のあり方等については書簡で意見を述べているのです。

しかし、新しい組織のあり方を決める重要な会議の場に参加していなかったということは、残念ながらその後の国際柔道連盟におけるわが国の位置づけに大きな影響を与えてしまったということも事実です。

嘉納先生はまだ海外に出かけるのが相当大変であった時代に13回も渡航され、いろんな人と会い、またいろんなところで講演をしています。

それは「自分の考えを相手に理解してもらうためには、出かけて行って、会って話をすると、説得をするということが必要である。難しい課題であればあるほど、そうすることが必要なのだ」と考えていたからだと思います。

だから嘉納先生のそういう仕事の進め方を見ていると、国際柔道連盟の設立の時のわが国の対応の仕方は、やや消極的過ぎたのではないかなと思います。

【世界スポーツとなった柔道の課題】

江田 国際柔道連盟という組織のあり方についてはまだ課題もありますが、日本で生まれた柔道はいまや世界のスポーツとして大きく育っています。

そこで今回の話の締めくくりとして、嘉納治五郎の柔道精神はいま世界の柔道家にはどのように受け継がれているのか、また、嘉納治五郎の目指した柔道を世界の人々にどのように伝えていったらいいのかということを考えていきたいと思っています。

嘉納治五郎の柔道精神はどのように受け継がれているか

江田 嘉納治五郎の柔道精神が世界の柔道家にどのように受け継がれているかということを問われた時、私は1964年(昭和39年)の東京オリンピックの時の神永昭夫とアントン・ヘーシンクの試合を思い浮かべます。この試合はヘーシンクが勝って金メダルを取るのですが、勝利を喜ぶコーチたちが畳の上に駆け上がったようにした時ヘーシンクはそれを制止したのです。勝って雄叫びをあげたり、派手なパフォーマンスをする選手が多い中で、ヘーシンクは「柔道とはそういうものではない」ということを示してくれたと感動し



たことを思い出しています。

そして、もう一つ、嘉納治五郎の柔道精神が世界にきちんと伝わっている例として、1984年(昭和59年)のロサンゼルス・オリンピックで、山下泰裕と戦って敗れたモハメド・ラシユワンについても触れておきたいと思っています。

この大会で、山下は足を痛めていて相当苦しい状況にあったのですが、ラシユワンは、その痛めている足を攻撃せずに山下に敗れてしまいました。

しかし翌日の読売新聞に載った彼の言葉は「山下が右足を痛めていたのは分かっていた。だからこそ僕は右足を攻撃しなかった。それに山下が強かったから自分は負けたのだ」というものでした。

山口 この試合は、山下さんもことさら自分の足を痛めていることを隠すようなことはなく、またラシユワンさんも相手の痛めた足を狙うようなことはせずに自分の力をストレートにぶつけていった、まさに柔道精神に満ち溢れた試合であったと思います。

オリンピックでは、どうしても金メダル至上主義になってしまい、負けると、「どうしても負けたのだ」という批判の声が上がります。「申し訳ありません」と謝る選手もいます。

私たちはオリンピックに向けては選手たちを強化し、金メダルをとれるように精進させますが、たとい金メダルが取れなかったとしても、嘆き悲しむものではないし、謝る必要はないと思うのです。

嘉納先生の柔道精神がきちんと受け継がれていれば、どの国の選手が優勝されようとも、そこに至るまで切磋琢磨されたことが重要であり、その選手を称えることこそがオリンピック精神であり、嘉納先生の柔道精神なのだということを肝に銘じておかなければならないと思っています。

そういう意味では、私たち若狭の人間には、良き指導者を育て、国内はもちろんですが世界にも派遣して、嘉納治五郎の柔道についての考え方や柔道精神をきちんと伝えていく責務があるのではないのでしょうか。

国際柔道連盟と嘉納治五郎

江田 先ほど、国際柔道連盟にわが国は遅れて参加したために、いまは必ずしもリーダーシップをとれる状況にはないという話もありましたが、国際柔道連盟の規約には、「柔道は嘉納治五郎が創始したものである」という記述があるようですね。

山口 そうなんです。国際柔道連盟の規約の第一条には「嘉納治五郎によって創始されたものを柔道とする」と定義されています。

つまり、世界には柔道に似たさまざまな武術がありますが、国際柔道連盟が目指す柔道は、嘉納治五郎がつくった柔道であると宣言しているのです。

これはとても大事なことで、私たちはわが国の柔道にもっと誇りをもって、「嘉納先生の柔道の理念」や「嘉納先生の目指した柔道」を、柔道を知らない外国人の人にもきちんと説明していかなければならないし、それができる指導者を育てていくことも私たちの責務であると重く受けとめています。

江田 これまで、柔道の本家であるわが国が、国際柔道連盟の中でリーダーシップをとれていないということに少し不満を感じていたのですが、国際柔道連盟の規約の第一条で「柔道とは、嘉納治五郎の創始した柔道という」と定義されていることを確認でき、安心すると同時に、柔道の国際化のためにわが国が果たさなければならぬ役割の大きさに思いをいたすことができました。

そして、柔道をめぐってさまざまな議論が巻き起こった時には、「嘉納治五郎の柔道に立ち戻って考えていくのだ」ということを私たちが柔道を考える時の原点にしなければならぬということも再認識することができました。

ありがとうございました。

次回は正月号で、阿江通良さん、真田久さんと「教育者としての嘉納治五郎の実像」に迫ります。

平成29年

「追悼のつどい」

今年も大塚で開催

「追悼のつどい」は、昨年と同じ大塚の茗溪会館において、9月2日(土)に開催されました。

昨年から本年夏までにご逝去された遺族の方々に連絡いたしましたところ19家族、26名のご参加をいただきました。本会からも多数の理事が参列しました。

遺影のみの参加の34名を加えて53名の遺影が飾られた式場で午前11時に開式。参列者一同が遺影に黙祷した後、江田理事長が「追悼の辞」を述べられ、筑波大学学長代理として出席された松村副学長から来賓挨拶があり、その後、一同が献花して式は終了しました。

式典終了後、茗溪会館写真スタジオにて集合写真撮影。その後、場所を二階「茗溪の間」に移して12時より14時まで「懇談会」が開かれました。

「懇談会」では江田理事長、松村副学長の挨拶のあと、遺族の皆様からスピーチをいただきましたので、その一部をご紹介します。誌面の都合上、全ての方をご紹介しますことをご許し下さい。



故・野口 昌三(昭和29年教大健) 奥様 野口直枝様

夫とは結婚して57年ですが、何も言わずに亡くなってしまいました。在学中からバスケットボールをやっており、卒業時にはそれなりに有名な選手になっていました。製薬会社に入社してもバスケットをしていました。自分の身の回りのことはキチンとしていて、人のため特に学生のためには本当に良くしていました。きっと今頃昔の仲間と天国でバスケットをしていると思います。



故・栗原 芳(昭和26年農教) 次女 関口洋子様

父は埼玉師範学校から陸軍士官学校を経て満州に渡り終戦を迎えました。帰国後、教育大に再入学して高校の数学の教師をしていました。退職後は岩槻のガイドのボランティアをしており、筑波大付属中学の生徒のガイドをしたのがとても嬉しそうです。



故・清水 進一(昭和43年教大数) 奥様 清水勢津子様

夫は生前東京オリンピックを観たいと言っておりましたが、それも叶わず白血病のため71歳で亡くなりました。夫はとてもバイタリテイのある人で、家庭でも仕事でも遊びでも全力でやる人でした。茗溪会でも理事を歴任した後に事務局の仕事を手伝っており、これからの活躍を期待されていたそうです。夫には上に兄弟がおり、きつと両親から「進一が先に来たのかよ」といわれているかもしれません。



故・佐々木 周榮(昭和30年教大数) 長男 佐々木 元様

父は教育大を卒業後東工大の大学院に進み、その後、実家のある山形に戻って高校の教員をしていました。教育大在学中は馬小屋を改装した汚い学生寮に入っていたそうですが、全国から集まった友達と楽しく過ごしたと聞いております。私は今回山形の母に頼まれて参加しましたが、奇遇にも勤め先の大先輩にお会いすることが出来るなど、父にとっても私にとっても良い会だったと感じています。



故・石橋 敏男(昭和15年文二) 奥様 石橋喜子様

夫は熊本出身で師範学校を卒業後北支へ渡り、そこで終戦を迎えました。とても優しい人で、私は一度も怒られたことがありません。10年前には叙勲も頂いております。趣味は写真と俳句と碁で、晩年は私が運転免許を取り、夫の足となり各地に連れて行きました。夫は98歳で亡くなりましたが、あと2年、100歳まで生きていてほしかったなと思っております。



故・中嶋 優治(昭和54年筑体) 奥様 中嶋有希子様

夫も私もラグビーが大好きで、日頃から「ラグビーは茗溪」というのが口癖でした。今回この会に来て江田先生や柴田先生にお会いできたのが嬉しかったです。主人が生前しゃべり口にしていた「茗溪」という言葉が耳について離れないほどです。



故・國谷 敏朗(昭和22年理一) 長女 金本美恵子様

父は昭和22年に高等師範を卒業しましたが、在学中は毎月学校から小遣いももらっていたそうです。その後、学徒動員では理系だったため招集されずに済みました。戦後、本所高校で教師をしていましたが、理想の教育をしたいと、愛をこめて教育に全力を注ぐ人でした。

平成29年度 茗 溪 会 地 域 組 織 表

	代表者 (卒年科)	事務局担当者
筑波大	松村 明 (55筑医)	立山 雅博
桐医会	山口 高史 (55筑医)	
北海道	大沼 寛 (41教大武)	宮下 聡 (57筑体) 鶴野 和憲 (07筑体)
青森	花田 慎 (56筑体)	工藤 誠司 (09筑体) 五十嵐 喜代歌 (09筑体)
岩手	佐藤 有 (57筑二農林)	清水 茂幸 (62筑修体) 上濱 龍也 (62筑体) 澤村 省逸 (62筑体)
宮城	高橋 欣也 (57筑体)	小野寺 清隆 (55筑体) 佐々木 洋 (59筑修環)
秋田	越後谷 真悦 (55筑体)	小林 大輔 (11筑一自)
山形	津田 浩 (58筑一自)	仁藤 誠 (02筑体) 羽角 哲弘 (04筑体) 芦野 浩二 (07筑一自)
福島	新田 銀一 (50教大数)	森 和茂 (59筑一自) 日高 郁子 (58筑一自) 大槻 文彦 (12筑一自)
茨城	鈴木 一弘 (58筑修教)	太田 泰介 (11筑修芸) 竹内 知則 (10筑修教)
栃木	齋藤 宏夫 (58筑修教)	小島 雄一 (63筑一自) 今井 和彦 (06筑一自)
群馬	坂田 和文 (56筑体)	田村 浩之 (60筑体) 佐久間 秀人 (58筑体) 笠原 恵太 (08筑体)
埼玉	前島 富雄 (47教大農)	青木 勇藤 (55筑一人文) 益子 篤行 (57筑一人文) 鈴木 徹也 (58筑一自)
千葉	百瀬 明宏 (55筑一人文)	大久保 利宏 (52教大健) 峯 浩之 (14筑一自) 村田 孝順 (24筑二生)
東京	高橋 基之 (53筑一自)	柳 久美子 (50教大体) 真当 哲博 (57筑二人間) 渡邊 悟 (62筑博農) 徳田 安伸 (56筑二農) 浅井 一郎 (55筑一人文) 飯島 睦子 (54筑二人間) 塩津 真 (62筑修環)
神奈川	矢野 正人 (53教大修農)	加藤 充洋 (56筑一社会) 添野 龍雄 (57筑二農) 中 弥貴 晴 (49教大農化)

	代表者 (卒年科)	事務局担当者
山梨	山本 英樹 (56筑一自)	渡辺 和弘 (60筑二人間) 永関 梨子 (26筑芸) 岩下 道子 (59筑二人間)
長野	田澤 直人 (57筑一人文)	箕輪 健二 (58筑体) 高野 浩志 (14筑修数) 上原 一人 (13筑修体)
新潟	永井 成一 (41教大法政)	小林 英明 (63筑一自)
富山	神田 聡 (58筑修教)	中村 謙作 (62筑一自) 安村 良紀 (18筑三工基) 中村 典子 (23筑博数)
石川	濱辺 正実 (53筑体)	松本 彰 (50教大体) 神田 康 (15筑体) 近岡 岳則 (17筑二人間)
福井	畑 中正美 (56筑一自)	橘 慶成 (08筑芸) 松田 充弘 (14筑一人文)
静岡	丹治 正 (56筑三社工)	綾部 信明 (58筑体) 金子 卓生 (13筑二生)
愛知	村松 利之 (53筑体)	川村 昌宏 (56筑一自) 伊與田 万知 (62筑修教) 米山 誠 (59筑二比)
岐阜	大橋 則雄 (57筑二人間)	増田 智至 (63筑二農) 蒲 尚胤 (02筑一人文)
滋賀	町田 登 (47教大健)	藤江 隆史 (08筑体) 松林 基之 (07筑体) 桂本 尚樹 (62筑体)
三重	阿形 克己 (57筑体)	廣田 育男 (60筑一社) 加藤 英紀 (15筑一自) 山北 正也 (03筑一人文) 若宮 一哉 (06筑一自)
京都	川合 英之 (56筑体)	川合 寛明 (59筑体) 遠山 秀史 (61筑一自) 奥村 典夫 (61筑修教)
大阪	松本 秀範 (53院修林)	中敷 久美子 (59筑芸) 大橋 一郎 (62筑体)
兵庫	中野 憲二 (56筑一人文)	林 啓太 (56筑体) 千脇 久美子 (05筑修生環)
奈良	谷垣 康 (53筑一人文)	井上 徳之 (58筑一自) 岩佐 泰造 (13筑体) 栗本 善弘 (10筑体)
和歌山	土肥 二郎 (57筑一自)	川口 勝也 (01筑体) 岡本 規 (05筑体) 梅本 将志 (12筑体)
鳥取	小倉 健一 (53筑体)	美多賀 孝裕 (10筑体) 出雲 大輔 (24筑体)

	代表者 (卒年科)	事務局担当者
島根	花田 英治 (50教大日史)	西村 覚 (01筑修体) 塚田 真也 (17筑三工基) 清水 悠 (22筑体)
岡山	長尾 隆史 (55筑体)	黒住 伸吾 (56筑体) 水川 敬介 (63筑体) 近藤 真妃 (06筑体)
広島	山成 宣彦 (40教大体)	大辻 明 (47教大体) 山下 勝也 (58筑体) 井藤 幹治 (55筑体)
山口	鍋井 邦久 (38教大体)	兼行 剛士 (58筑体) 内田 忠範 (57筑体) 藤井 功 (57筑体)
徳島	安永 潔 (55筑二農)	池 潤茂 (58筑二比) 北条 伸吾 (62筑一人文) 田北 直樹 (05筑体)
香川	高井 信一 (55筑体)	渡邊 浩司 (03筑体)
愛媛	畑野 智司 (55筑二生)	八木 俊博 (57筑体) 山本 隆祥 (07筑体) 森川 大和 (16筑二人間)
高知	下坂 速人 (53筑体)	手林 慎一 (04筑二農) 山本 英作 (03筑二比) 野田 智洋 (62筑体)
福岡	永沼 真紀 (57筑体)	稲富 勉 (61筑体) 兒島 悟 (07筑体)
佐賀	野中通 兼 (53筑体)	松雪 誉 (61筑体) 山田 和人 (05筑体)
長崎	渡邊 孝経 (59筑体)	山口 千樹 (60筑二生) 吉村 史朗 (12筑一人文)
熊本	赤星 隆弘 (58筑体)	寺本 護 (08筑体) 田中 智之 (09筑体) 上田 晃裕 (14筑体)
大分	渚 洋行 (53筑体)	田崎 弘宣 (63筑体)
宮崎	久松 弘幸 (55筑一社)	児玉 洋一 (02筑三社工) 茅島 隆司 (13筑一社)
鹿児島	原口 和哉 (56筑一自)	鹿倉 貢 (57筑体) 内倉 昭文 (59筑一人文) 寺田 晋紀 (10筑一自)
沖縄	前門 晃 (58筑博理)	三輪 一義 (02筑修体) 古堅 小百合 (12筑修理) 渡部 洋子 (63筑一自)

平成29年度 茗溪会学生生活動支援事業採択団体等一覧

	団体等名称	対象事業	支援額 (千円)
1	斬桐舞	よさこいソーランの普及と地域の祭りへの参加	100
2	CLOVER ～難民と共に歩むユース団体～	難民問題・入管問題の学内外に向けた啓発イベントの開催	50
3	オリエンテーリング部	第37回筑波大学オリエンテーリング大会／つくばロゲイニング	70
4	弓道部	2018年日本台湾弓道交流	160
5	応援部WINS	体育会所属団体の応援活動、スポーツデーなどの学内行事の広報活動、つくばマラソンなどつくば市内の行事応援活動	290
6	管弦楽団	筑波大学管弦楽団第82回定期演奏会	200
7	宇宙技術プロジェクト	ハイブリッドロケットの設計・製作及び小型模擬衛星の設計・製作、自作エンジンの開発	220
8	つくばろぼっとサークル	ロボットコンテスト参加に向けた活動、およびメンバー間による技術交流	60
9	学び場さくら塾	学び場さくら塾	80
10	HSCaT	学内（教育・研究棟周辺及び宿舎敷地内）に生息する猫の保護・管理及びTNR（避妊・去勢手術）活動	180
11	筑波学生文芸賞運営委員会	筑波学生文芸賞運営委員会	40
12	日本マラウイ学生団体	マラウイ共和国におけるUNDOKAIの実施	200
13	平成29年度筑波大学学園祭実行委員会	第43回筑波大学学園祭「雙峰祭」	500
14	ふるさとつくば ゆいまつり 実行委員会	第7回 ふるさとつくば ゆいまつり	280
15	食と酒 東北祭り実行委員会	第4回 食と酒 東北祭り	100
16	筑波大学陸上競技部長距離（駅伝）チーム	筑波大学箱根駅伝復活プロジェクト	290
17	つくばミュージックプロジェクト	筑波大学学園祭ライブ2017	60
18	盆LIVE 2017	盆LIVE 2017（T-ACT承認企画）	110
19	つくばりサイトルシリーズ実行委員会	つくばりサイトルシリーズ	60
総 額			3,050



学生生活動支援事業は、筑波大学の学生が課外活動として実施するイベント等の企画に対して計画段階で審査し、助成金を支給するもので、健全で優れた成果が期待される課外活動に取り組んでいる団体又は個人を対象に設けられたものです。また、この事業は、茗溪会から筑波大学への助成の約4割を占めています。今年度は、日本マラウイ学生団体など新規の4団体が採択されましたが、ある採択された団体からは「これから一層社会や地域に貢献していきたい」との力強い決意を述べられました。

去る7月6日、学生生活動支援事業選考委員会（委員長：西川副理事長）が開催され、22件の申請のうち「筑波大学陸上競技部長距離（駅伝）チーム」を含む19件が採択されました（表参照）。これを受けて、同月27日、目録贈呈式が学長室で行われ、江田理事長から永田学長に目録が贈呈されました。その後、大学会館において玉川副学長臨席のもと、採択された団体への助成金交付式が行われ、続いて、交付式参列者全員による記念の集合写真撮影が行われました。

茗溪会学生生活動支援事業

助成金

305万円

を交付！

第43回

宿舍祭(やどかり祭)を

終えて

委員長 岩本淳宏

理工学群工学システム学類3年



委員長挨拶

やどかり祭は大成功でした

こんにちは。第43回筑波大学宿舍祭実行委員会委員長の岩本淳宏です。初めに、ご支援ご協力頂いた方々のおかげで、第43回やどかり祭を無事終えることができました。また、無事に終えただけでなく、ご来場者の皆さまや企画に参加して頂いた方々のたくさん笑顔のおかげで、第43回やどかり祭は大成功だったと胸を張って言えます。誠にありがとうございます。

やどかり祭は筑波大学と一緒に誕生した祭です

今年で第43回を迎えたやどかり祭は筑波大学とほぼ同時期に生まれた伝統ある祭です。そんな伝統ある祭を無事終えることができてホッとしています。私はもともととても面倒くさがり屋で、何かやる時も怒られない程度にやって、後は遊んでいるタイプの人間でした。しかし、このやどかり祭を通して変わることができました。私が1年生として実行委員会に入ったときに、先輩方にとってもよくして頂き、祭の準備やそれ以外のところでもとても楽しい思いをすることができました。その中で、どんどんこのサークルが好きになり、また今度は自分に後輩ができたときに、自分がしてもらったように、1年生を楽しませてあげたいと思うようになりました。そして、先代から委員長を任命され、楽しませてくれた先輩方への恩返しと後輩を楽しませることを、先頭に立つて行えることに魅力を感じ、引き受けました。しかし、委員長という立場はそんなに甘いものではなく、そのプレッシャーや忙しさから逃げたくなくなる時もありましたが、こんな私を慕ってついてきてくれる後輩、支えてくれた同期、そして様々なアドバイスをくださった先輩方のおかげで、委員長として走り続けることができました。サークルの仲間には感謝してもしきれません。

祭の準備で苦労したこともありました

祭の準備を進めていくうえで苦労したことは、今年から生じる問題が多かったことです。やどかり祭は平砂テニスコートをメインステージとしているので、今年から

運用されるグローバルヴィレッジやその工事の影響で例年とは異なる対応をしなくてはなりませんでした。祭ギリギリになって色々変更しなくてはならないことが沢山あったので、祭当日まで不安でいっぱいだったので、各担当が臨機応変な対応をしてくれたので、問題なく祭を迎えることができました。

今年のやどかり祭では花火も復活できました

今年のやどかり祭は前夜祭で多少雨がばらついたものの野外ライブ企画の開始時刻には雨も収まり、ほとんどの企画や模擬店は順調に進めることができました。そして、最後のゆかたコンテストでは例年以上の盛り上がりを見せたと思います。また、昨年度諸事情により行えなかったゆかたコンテスト前の花火も本年度から復活することができ、多くの方にこのやどかり祭を楽しんでいただけだと思います。



夜空に打ち上がる花火

やどかり祭は学生生活を

共に楽しむ仲間づくりの場です

やどかり祭は、入学し親元を離れ不安でいっぱいの新入生がやどかり祭を交流の場として今後の大学生活を共に楽しむ仲間を作ってもらいたいという想いで生まれしました。各企画や模擬店を通して友達があふえただけでしょうか？楽しんでいただけたでしょうか？祭中に見た新入生の笑顔がその答えだと確信しています。今年の祭のテーマである「千祭一遇」の通り、人生の中で一度しかない新入生としてのやどかり祭をかがえの最高峰の思い出にしたいだけできれば幸いです。

最後に改めまして、第43回宿舍祭は多くの方の支えによって、成功を収めることができました。誠にありがとうございます。



祭を支えた仲間たち



舞台における演奏



会場の手作り装飾



「生」の文字を火文字にしました



恒例の祭り神輿

茗溪・東西南北

和歌山茗溪会

生物学、博物学、民俗学等あらゆる分野において世界的に著名な学者である南方熊楠（1867～1941）は和歌山市で生まれました。今年には生誕150周年と銘打ち、彼の功績を記念する事業が県内各地で執り行われています。彼は15年間に及び世界各国で研究を重ね1900年に帰国、その後の人生のほとんどを田辺市で過ごし、紀州熊野の一角を活動拠点として研究に邁進しました。熊楠の活動の一つ、昭和天皇行幸の際に御進講をした神島が田辺湾に浮かび、自然保護の精神は今も地域の方々に引き継がれています。2015年に串本町からみなべ町にかけて紀伊半島西海岸一帯は吉野熊野国立公園に編入され、高野山や熊野三山、熊野古道をはじめとする世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」とともに国内外から注目を浴びています。

平成29年7月17日（月）、ホテルアバローム紀の国（和歌山市）において、茗溪会和歌山支部総会が開催され、会員15名が出席しました。土肥支部長による開会挨拶にはじまり、議事では会計報告がありました。また、今回の総会には江田昌佑理事長に御多忙のところ御出席、御挨拶を賜り、茗溪会の歴史や地域組織の現状及び今後の活性化についてお話をいただきました。続いて、茗溪会本部の法人移行の関係から、協議事項に急きよ組織名の変更について提案がなされ、「茗溪会和歌山支部」から「和歌山茗溪会」への名称変更が承認されました。

懇親会では、谷口康雄先輩より乾杯の御発声の後、年代を超えた会員同士が懇親を深め、情報交換や和歌山茗溪会の発展に向けた取り組み等について忌憚のない意見交換がなされました。近年、総会への出席者が固定化さ

れ、人数も減少傾向にあることから、若手会員のグループ結成、体育関係者による「茗体会」、女子会員による「女子会」、「企業関係者による会」の開催などを企画してはどうかという意見が出されました。また、本会会員で、公益財団法人「天神崎の自然を大切にす会」業務執行理事の玉井清夫氏から、冒頭にある田辺市神島周辺の自然保護活動の様子について掲載された会報誌をお送りいただき、出席者で回覧しました。



富山茗溪会活動報告



富山茗溪会では、毎年5月に役員会、7月に支部総会と県職員総会、11月に体育部会、2月に高岡地区懇親会を開催しており、会員の親睦を図っております。

当会では、一昨年は中山慶一先生（昭43・教大数）、昨年は山下富雄先生（昭44・教大國）が瑞宝小綬章を受章されるなど、大変嬉しい報告が続いております。また、前支部長の坪池宏先生や相談役の方々から、県内の会員

に積極的に声をかけていただき、最近では総会や懇親会に若手の参加者が増えつつあるなど、盛り上がりを見せております。

今後は、ブロック別懇談会などを通して他県の取り組みを取り入れること、企業人の参加を積極的に図っていくことにより、さらに多くの参加者が集う組織にしていきたいと考えています。

今年度の総会は、平成29年7月2日(日)に、本部から高野力事務局長をお迎えし、富山電気ビルディングにて行いました。代議員報告、会務報告・会計報告、新役員体制が承認されたのち、懇親会が催されました。高野事務局長の温かいお人柄とお話に触れ、終始和やかな会となりました。最後には、参加者全員肩を組み、声高らかに、宣揚歌を歌い、同窓の思いを一層強くして、会のさらなる充実と発展に向けて活動を展開していくことを誓い合いました。

北陸・東海ブロック代表者会議

平成29年7月2日(日)午後1時より、名古屋市のホテルプラ山王にて、「茗溪会 北陸・東海ブロック代表者会議」が行われました。

現在、茗溪会の組織力強化は、最大の懸案です。ほぼ教員系を中心に運営してきた茗溪会は、筑波大学卒業生が、すでに定年退職を迎えている現在、行政、企業等で活躍する同窓にとっても、魅力あるものに変革しなくてはならないと、その組織の在り方を以前から見直していく必要があることが言われてきました。

組織力の強化策の一つとして、各都道府県単位の会合だけでなく、様々な工夫した取組を共有して活性化していくことが大切と、全国をブロックに編成して、会議を実施しているところです。

当日は、村松利之愛知支部長、竹下裕隆愛知副支部長、川村昌宏愛知支部事務局長、大橋則雄岐阜支部長、辻昭司三重支部長、そして、東京本部から、江田昌佑理事長

と、私、理事の高橋基之が参加しました。まず、江田理事長から、ブロック会議の趣旨説明があり、茗溪会の現状についても説明して、会議が進行しました。

さらに、参加者からは、それぞれの支部の現状と、支部内の各同窓会の実態について説明がありました。今後、若手への呼びかけ、企業等の会員についても、同じ学類の会員に呼びかけるなどの具体的な方策などが報告されました。

また、東京の組織改編、「茗溪筑波産業人会」の取組等の報告も加えて報告し、さらなる今後の取組について意見を交換しました。
(高橋 基之)



著書紹介

『しっくりこない日本語』

著者…北原保雄(35年教大・41院修日文)
本の大きさ…新書版 全189頁

出版 社…(株)小学館
発行年月日…2017年8月6日

違和感を覚えながらつい使ってしまう表現のあれこれを、新語・流行語を定点観測してきた日本語学者が解明。たとえば「ノーマリスをする」「やらせていただきます」は、どんな心理が働いた結果の間違いで、本来どう言うべきか。「世間ずれ」「煮詰まる」のように、世代によって違う意味で使われる言葉も気になる。

朝日新聞書評(2017年9月3日)から

目次概要

- 第1章 変な日本語 気になる日本語
- 第2章 世相を映して生まれる日本語
間違えやすい日本語
- 対談1 梶原しげる×北原保雄
- 対談2 鈴木仁也×北原保雄

入手方法…一般書店にて入手可。

(茗溪会事務局)



までは数えられない「量」を限定するのに用いられ、両者の区別は厳密に守られている。形容詞の many と much は用途が全く異なるが、比較変化は more, most を共有している。この不可解な状態には歴史的経緯がある。第一に、much は中英語から16-17世紀頃まで many の同義語として folk, thing, part などの可算名詞を限定するために用いられていた。第二に、1422年から18世紀末まで、many には比較級 manier と最上級 maniest が用いられていた。これらの事実から(4)の史的变化の過程が想定できる。

- (4) a. Many と much の意味と用法には厳密な区別がなく、比較変化を共有していた。
 b. その後、両者には用法上の区別が生じ、many には独自の比較変化が導入された。
 c. Many の比較変化は300年ほど用いられたが、その後、廃れてしまった。
 d. 今から200年ほど前に旧来の比較変化の共有状態が復活した。

5 'many a ~' という形式の配分用法

「塵も積もれば山となる」という諺は英語では (5a) のようになる。この英文は語頭の /m/ が頭韻していて覚えやすいが、many が a little 「少量」という単数の名詞句を伴うこと、他では見たことのない名詞 mickle 「大量、たくさん」には違和感があることから、詳しく調べてみた。その結果、興味深い事実が出てきた。たとえば、'many a ~' は (5b, c) のように他の諺にも多く用いられていて、しかも、かなり古い時代までさかのぼれる。

- (5) a. *Many a little makes a mickle.* (12世紀後半)
 b. *Many a good cow has an ill calf.* 「賢が子、賢ならず」 (16世紀前半)
 c. *Many a one sings that is full sorry.* 「曳かれ者の小唄 (= 負け惜しみする強がり)」 (16世紀前半)

6 much の語源と派生語

一方、(5a) の mickle は諺以外ではほとんど見かけないが、多くの語と起源を共有していることがわかった。Mickle は古英語の micel, mycel に由来し、ラテン語の magnus (> magnitude, major, master)、ギリシア語の mégas (> megamouth, megaphone, megalopolis)、サンスクリット語の maha- (> maharajah 「インド王侯の尊称」、mahatma 「大聖人」) までさかのぼれる。ちなみに、英語の much と同じ語源で、意味も似通っているスペイン語の mucho は最近なぜか英語に借用された。

7 チョーサーの 'many a ~' と many の複数形

「英詩の父」チョーサー (Chaucer, 1340?-1400) は集合用法の 'many men' 型と配分用法の 'many a man' 型をほぼ同数という高い頻度で用いているが、それから約200年後のシェイクスピア (Shakespeare, 1564-1616) になると、配分用法は2割程度にまで減少し、今から100年ほど前の O' Henry や Lafcadio Hearn などの作品で時おり見かけるが、以後、姿を消した。

現代英語では、形容詞は比較変化の場合にのみ cold ~ colder ~ coldest のように語尾を伴うが、かつては名詞と同様

に形容詞にも性・数・格の区別があり、様々な語尾が付加されていた。もっとも、チョーサーの頃は、形容詞は複数形の語尾 -e だけが残っていて、many の複数形は manye であったが、「マニヤ」と発音された。ちなみに、manye の y を強く読むと「マニア、熱中家」という全く別の語になるが、この語はチョーサーが最初にラテン語から借りて用い、以後、英語となった。

8 each と every の起源と用法

Every は each を ever で強調したものであり、古英語の末期にすでに複合した語が用いられていた。一方、each は all や every とは異なり、個別の物を別個に焦点を当て、「一つずつ別々に」の意味を表す。every は「完全性、完璧性、網羅性」を強調する形容詞であるが、everybody, everyone, everything のように body, one, thing と結合すると代名詞となる。もっとも、これらの代名詞は既出の事物や人を受けることはできない。

Everyone (= everybody) は「人」を指すが、every one は (6a, b) のように「人」も「物」も指すことができる。Every は (6c) のように間隔を表す時には複数形の名詞(句)を限定する。

- (6) a. *Every one of the children was crying.*
 b. I've read *every one* of his wonderful books.
 c. She comes to see me *every two or three days.*

9 some と any の起源と用法

Some は古英語の sum 'one, a certain' に由来する。一方、any は古英語の数詞 one + 派生語尾 -y までさかのぼれる。似た意味を表す some と any が共存しているのは、用法の区別が確立していたからであろう。

Some は数を表す場合は a few と many の中間、量・程度の場合は a little と much の中間となる。

Sometime, some time, sometimes の区別には意味、アクセントの型、語句の形式が伴う。(7a) の some にアクセントのある sometime, some time は「(近)未来のある時」、(7b, c) の time にアクセントのある some time は「しばらくの間、かなり長い間」を表す。ちなみに、sometime は my sometime sister のように「かつての」という意味で用いられたことがあった。

- (7) a. Let's go to Tokyo *sometime* next month.
 b. He has lived in Japan for *some time*, so he speaks Japanese quite well.
 c. I'm afraid it'll take *some time* to repair your bicycle.

一方、sometimes は I *sometimes* went to Mt. Aso when I lived in Kumamoto のように、行為や動作の頻度を表す副詞として用いられる。

Any は特に非断定的な脈絡で用いられることから、(8) のように、否定文、疑問文、条件文など、指摘されている事物が存在しない場合や仮定を表す場合に好まれる。

- (8) a. I haven't succeeded in finding out *any* clue to solve the problem.
 b. Is there *any* good way of gaining a lot of money from a steady business of selling antiques?
 c. I doubt if *any* of the students can run so fast.

藤原教授の英語のはなし 第15弾

「英語の不定数量表現は面白い！」

講師：藤原 保明 (筑波大学名誉教授)

はじめに

英語は何年学んでも十分に理解できないところがあるが、使い方や起源がわかると、特徴がよく見えてきて、興味や関心が増し、理解が深まるということがある。この講演では、不定の数や量を表す *all*, *any*, *each*, *every* などの特徴を少し掘り下げて考えてみた。

1 不定代名詞の特徴

英語の不定数量詞には固有の意味や用法があるので、十分に理解してから用いる必要がある。たとえば、知人宅でサクランボの入った果物かごを見せられて、(1a~d) のように言われたら、どう対応すればよいのだろうか？

- (1) a. Take *all* of them. → *all* は3つ以上の構成素の全体を指すので、まとめて全部もらってよい。
 b. Take *every* one of them. → *every* は *each* の強調形であり、一個ずつ全部という意味なので、一つずつ確認し、全部もらえばよい。
 c. Take *each* of them. → この文は未完結なので、and examine them in turn という指示の後、一つずつ確認してから持って帰る。
 d. Take *any* one of them. → この文も未完結文であるが、*any* には「選択の自由」があるので、どれをもらってもかまわない。

2 *all* の起源と用法

All が形容詞の場合、(2a) のように後続の名詞句が *the* で限定されると、特定の集合体となる。(2b) の代名詞の *all* は 'everything' か 'the only thing(s)' のいずれかであり、関係節は「制限用法」のみ許される。名詞の *all* には (2c) のような「全財産、全精力」などの意味がある。副詞の *all* は (2d) のように 'completely, wholly' の意味を表すが、*all* が副詞か代名詞かはっきりしない (2e) のような場合も生じる。

- (2) a. *All* the children like strawberries.
 b. *All* is well that ends well.
 c. He gave his *all* for the victory of his baseball team.
 d. I'm *all* thumbs. 「私は全く不器用だ」
 e. They were *all* covered with snow. ('wholly' か 'All of them' のいずれか)

3 *all* の「冗語法」

18世紀末頃～19世紀初頭に「ロマン主義」と呼ばれる文芸・芸術活動が展開された。イギリスではバイロン、コールリッジ、キーツ、シェリー、ワーズワスなどの詩人が活躍した。ロマン派の詩の特徴は(3)のコールリッジの代表作にも表れ



ていて、各行のリズムは一貫性がなく、脚韻はかなり不規則であり、統語的にも不自然であるなど、規範を逸脱した自由な詩形になっている。

- (3) 「老水夫の歌」(1798年, Part IV, 3)

Alone, alone, *all*, *all* alone,

Alone on a wide wide sea!

And never a saint took pity on

My soul in agony.

「一人で、一人で、まったく、ただ一人で、

広い広い海の上で、たった一人だったのだ！

だが、天使は一人も憐れんでくれなかった、

苦悶している私の魂を。」

詩人は孤独の寂しさを *all*, *all alone* と表現しているが、*alone* は *one* を *all* で強調したものであり、すでに中英語で1語となっていて、現在では *all alone* は「冗語法」とみなされている。詩人はこの「冗語」に *all* を加えて *all, all alone* としている。*All* の強調形には、*almighty*, *almost*, *always* のように *all* の母音の発音が維持されている場合だけでなく、*alone*, *atone* (<at one) 「和解する」のように *all* や *at* の母音が弱化し、*one* の発音も変化している場合があり、後者の場合には元の語形に気付かないこともありうる。

詩人は *alone* の語源を理解していたかどうか不明であるが、語源も踏まえてこの詩を読むと、大詩人が少し身近に感じられる。日本語にも「御御御付(おみおつけ)」のような冗語があるが、これほど極端な例は珍しい。

4 *many* と *much* の起源と用法

Many は古英語の *mænig* に由来し、13世紀以降、*any* の母音 [e] を真似た現在の発音になった。*manifold* 「種々の、多様な」には *many* の古い発音が残されている。一方、*much* は古英語 *mycel*, *michel* の *l* が脱落した中英語の *much*, *moche* に由来する。

現在、*many* は数えられる名詞句を限定し、*much* はそのま

会費完納会員の皆さまへ

平成29年10月15日

一般社団法人 茗溪会
理事長 江田昌佑

平成29年度『茗溪フェロー』 ご協力をお願い

茗溪会が新法人としてさらに発展・進化していくために、東京教育大学等前身諸学校から筑波大学にわたる多様な世代を結び、教育界だけでなく広く実業界に活躍する卒業生との地域・職域をこえた連携を強化することを目的として、「茗溪会拡充キャンペーン」を推進し、その一つとして会費完納会員を対象とした「茗溪フェロー」を創設いたしましたところ、これまでに多数の方からのご協力をいただきました。

誠にありがとうございました。

完納会員の皆さまには、35年間にわたり茗溪会へのご支援をいただき、これまで本会を支えていただきましたことは、誠に感謝に堪えません。

茗溪会は筑波大学や在学生、さらに新しい卒業生に、一層の支援をすることは勿論ですが、本会の老・壮・青の力を集めて大きく発展することを期しています。そのためにも、皆さまには本年度もご協力をお願い申し上げます。

「茗溪フェロー」の募集要項

既に会費を完納した会員の皆さまに呼びかけて「茗溪フェロー」として、皆さまからの寄付をしていただき、今後の茗溪会の運営に寄与していただくことを目的といたします。

- 1 寄付金 1口 2,000円/年間
- 2 支払い方法 口数の選択 1口以上
郵便局窓口またはATMから送金してください。

会員番号は必ず記入してください。

(お送りした封筒の宛名に記載してある8桁の番号)

新たにクレジットカードでお支払いもできるようになりました。詳細は事務局までお問い合わせください。

- 3 季刊誌『茗溪』誌上にお名前を掲載いたします。
- 4 納入口数に応じて、記念品を贈呈しております。

季刊誌『茗溪』正月号に 誌上交流広告掲載ご協力をお願い

日頃から、茗溪会にご支援・ご協力いただきまして、ありがとうございます。

さて、季刊誌『茗溪』では、年2回、誌上を使って、会員相互の交流を図るために交流広告を募集してまいりました。次号(1096号)では、「年頭の挨拶」を交わす誌上交流を会員の皆さま全員にお願いして掲載致したいと存じます。

下記の要領により、ご応募くださいますようお願いいたします。

記

◆掲載方法

季刊誌『茗溪』正月号(1096号)誌上

上段に「謹賀新年 平成30年 今年もよろしく
お願いいたします」のタイトルを標記いたします。

◆掲載対象

茗溪会等の代議員・理事・監事・各地域組織等の代表者(会長・支部長・校長等)をはじめ、会員の皆さまにお願いします。

◆掲載内容

地域組織の代表者名、個人名、連絡先、卒業年、卒業学科、学類及びコメント(30字程度)

コメントは、例えば今年の抱負、総会等の主な行事、サークルや同期会等のお知らせ等々を、全国の仲間と交流してください。

◆掲載文の連絡方法

FAXまたはメール等で、本部事務局宛ご連絡ください。

◆掲載協力金

1件につき10,000円をご協力ください。
協力金は本部事務局までご送金ください。

◆原稿等の締切り

平成29年11月24日(金)です。

◆連絡先

〒112-0012 東京都文京区大塚1-5-23
茗溪会 事務局 高野 力
TEL 03-3941-0136
FAX 03-3941-7674
E-mail info@meikei.or.jp

*印刷業者からゲラが出てまいりましたら、お送りして、確認していただきます。

筑波大学はいま

3日間の大学説明会に、
1万人以上の高校生が参加



理工学群の模擬講義

8月5日、6日、11日に「受験生のための筑波大学説明会 オープンキャンパス」を開催しました。

学群・学類別の説明会には、延べ1万1千669人の事前登録がありました。当日は、各学群・学類ごとに工夫を凝らした研究施設見学や模擬授業などを行い、在学生が参加者を案内したり、研究説明や体験談などでの来の後輩たちへ大学をアピールしました。

大型研究プロジェクトに採択 AIを活用した保健指導システム研究推進事業

本学と、(株)つくばウエルネスリサーチ、(株)NTTデータ経営研究所らは、総務省予算により国立研究開発法人日本医療研究開発機構が実施する「AIを活用した保健指導システム研究推進事業」の大型研究プロジェクトに採択されました(研究代表は本学久野譜也教授)。



本プロジェクトでは、筑波大学発VBのつくばウエルネスリサーチが自治体と連携して構築してきた75万人以上の健康関連ビッグデータと、本学久野研究室及びつくばウエルネスリサーチがこれまで百以上の自治体の健康施策コンサルティンクをしてきたノウハウを基盤に、本学の人工知能科学センターとNTTグループの最新AI技術、さらには新潟県見附市・茨城県常総市の現場に蓄積された経験知を融合させることにより、世界で初めて自治体の健康政策を支援するデータヘルスシステムを開発します。

科学ワークショップ 『夏休み自由研究お助け隊』に中学生が参加

7月24日に中学生を対象とした科学ワークショップ『夏休み自由研究お助け隊』を開催しました。毎年、医学、工学、芸術などの様々な分野から自由研究のヒントになるようなテーマを厳選し、本学の研究施設を使って教職員が講義と実習をサポートします。

今年も13テーマに、83人の中学生が参加しました。参加者からは「説明がわかりやすかった」、「プログラミンが思ったより簡単に楽しくできた」、「家でも試してみたい」など、大変好評でした。



プロジェクトの概要を説明する
体育系 久野譜也教授

第29回ユニバーシアード競技大会 本学学生が活躍、メダル多数!

学生のオリンピックと言われる、ユニバーシアード競技大会が、8月に台湾の台北で開催されました。本学からは日本代表として、23人の選手が10競技種目に参加し、優秀な成績を収めました。



国立台湾大学のサマープログラムに参加中の本学学生が応援に駆けつけた

柔道	能智亜衣美(体育4)	63 ^{kg} 級金メダル、団体金メダル
陸上	山下 潤(体育2)	4×100mリレー金メダル
サッカー男子	戸嶋 祥郎(体育4)	金メダル
	中野 誠也(体育4)	
	三笥 薫(体育2)	
サッカー女子	水谷 有希(体育3)	銀メダル
バドミントン	加藤 美幸(体育4)	混合団体銀メダル、 女子ダブルス銅メダル
	柏原 みき(体育4)	
女子バレーボール	井上愛里沙(体育4)	銀メダル
	丸尾 遥香(体育3)	
	競泳/平山友貴奈(体育4)	
水泳	飛込/榎本 遼香(体育3)	女子団体戦銅メダル
	水球/齊藤 葵(体育4)	女子銅メダル
女子テニス	牛島 里咲(体育3)	女子団体銅メダル
男子バレーボール	秦 耕介(体育4)	銅メダル
	酒井 啓輔(体育3)	

茗溪学園だより

ワールドスクール計画の推進

「茗溪学園留学生」の受け入れ

夏休み明け9月より3名の留学生がやってきました。今まで、AFS、YFUなどの機関を通じた交換留学生のみを受け入れてきましたが、今回の留学生は、茗溪学園が独自に行う留学生受け入れです。その相違点は、寮生活をすること、所定のカリキュラムに従って科目履修をすることです。本校は、今年度よりIBDP（国際バカロレアディプロマ）課程を開始し、ワールドスクールとして、より積極的にグローバル教育の展開を図ろうとしています。その一環となるプログラムです。

3名のうち2名（男女各1名16歳、17歳）は、台湾からの国費留学生です。台湾が今年から始めた日本への留学制度で、台湾国内で選抜された15名のうちの2名が本校へやってきました。もう一人（男、18歳）は、ベトナムからです。彼は、来校初日、寮生を前に流暢な日本語で挨拶をし、熱烈歓迎を受けていました。日本の大学への進学を希望しています。3名とも日本語を学んでいて、他の科目でも非常に優秀です。



筑波宇宙センターを見学する留学生。
つくばの研究機関にも関心が高い

これらの留学生が寮生活を共にすることの最大メリットは、留学生と本校生の「協働」体験が日常的に行われることです。相手を理解し、それぞれの国の文化の理解を深める助けとなります。互いに刺激しあつて、グローバル社会でリーダーシップを発揮する人材へと成長して欲しいと思います。



JAPAN EXPOの茗溪ブース。
卒業生らの協力がありました

サマーチャレンジプログラム「MICAS」



Otago Polytechnic（国立総合専門学校）でのFood Technologyの授業

IB課程には、創造的な活動や奉仕活動を行い、それを評価する「CAS」という特別活動プログラムがあります。活動目的や内容を自分で決めて実施、自己評価するもので、挑戦的な内容ほど高い評価となります。今夏、茗溪生向け茗溪流のCAS「MICAS」が始まりました。まずは参考例として、ニュージーランドでの活動を企画しました。高校1年生から希望者を募ったところ、15名の応募があり実施されました。3週間のプログラムでしたが、今後「MICAS」の一つとして、より高い評価に繋がる活動へと改善されていくものと思われれます。

JAPAN EXPO in THAILAND

ワールドスクール計画の外国人留学生の受け入れ、そして従来の海外帰国生募集活動のため、バンコクで開催された日本関係の最大イベント「ジャパンエキスポ」に参加（初参加）しました。

9月より、筑波大学と連携し、留学生向け広報募集活動を協力して行っています。そのため、本校ブースには、

筑波大学のパンフレットも並びました。本校からタイ・バンコクに留学中の生徒やバンコク滞在中の卒業生も数多く足を運んでくれました。賑わいのあるブースとなり周りから注目されることとなりました。

全国高校軟式野球大会準優勝



円陣を組んでいざ決勝戦

第62回全国高校軟式野球選手権大会（8月24～29日兵庫県明石市）において、本校軟式野球部が準優勝という快挙を成し遂げました。本校の同大会出場は、10年ぶり2回目。全国大会出場までには、北関東大会という難関（北関東地区には全国でも常に上位に位置する強豪校がある）があるのですが、ここを見事勝ち抜いての出場でした。初戦から前年優勝の天理高校との対戦、不運な組み合わせと見えたのですが、これを気力と粘りで4対2と跳ね返し、一気に決勝戦まで上り詰めました。決勝は中京学院大学中京高校（21回出場優勝8回）との対戦、0対1で敗れたものの、素晴らしい結果を残しました。4試合を3失点に抑えたピッチャー森岡君の活躍が光りました。10月の愛媛国体にも出場します。ここで優勝に再チャレンジとなります。

部活動など結果報告（7～9月）

※茨城県中学総合体育大会総合成績男女ともに総合優勝（女子は4年連続、体操、剣道、バドミントン競技での高得点獲得による）

◎**中学ラグビー部**：全国ジュニア大会関東予選優勝（茗溪主体の茨城県選抜チーム、12月開催全国大会出場）◎**高校ラグビー部**：第4回全国7人制大会結果ベスト8◎**全国高校ダンスドリル選手権**：ミスダンスドリルソロ10位

【高校インターハイ結果】

◎柔道女子1回戦◎体操男女予選敗退◎バドミントン男子シングルス3回戦、男子ダブルス1回戦◎フェンシング女子・フルーレ予選1勝3敗

【中学全国大会（佐賀県開催）結果】

◎バドミントン：男子ダブルス2回戦◎剣道：女子団体予選リーグ2位、男子個人1回戦、女子個人3回戦

【文化部】◎科学部無線班：全国ARDF大会中学スプリント団体1位高校5位ほか上位入賞◎科学部生物班：全国高校総合文化祭（宮城県開催）◎書道部：東京学芸大学学芸書道全国展優秀団体賞、学芸賞他多数

【SSH】全国発表会（神戸）3名参加、屋久島巡検（春日部高校との共同研究7年目）14名参加、科学部生物班「ホタルの研究」世界湖沼会議ハイスクールプレ会議参加

【SGH】「トビタテ！留学JAPAN」プログラム3名参加、国際公共政策コンファレンス・最優秀賞「ラオスにおける特別支援教育推進のための提言」

◆昭和35年卒体操部同期会「サンゴ会」館山集会

とき 平成29年9月12(火)~13日(水)
 ところ 筑波大学館山研修所 (旧北条寮)

昭和35年に因んで「サンゴ」と表記し、珊瑚のように美しく、輝いた人生を送ろうとの思いを込めて同期会の「愛称」としました。卒業9年後の昭和44年8月に明治記念館で今村先生をお迎えして会合を持ちました。以後、18回の会合を重ねました。傘寿が近づいたのを機に、共通の思い出の所に集まることとし、一昨年5月にスキー実習を受けた菅平高原にそして今回、最終回として水泳実習の館山に集まりました。男性9名、女性5名に2名の夫人を加えた16名の、「元気もの」が集まりました。60年前、粗末な施設で、粗食に耐えながら遠泳に挑戦した思い出話等々に花が咲きました。

私たちは、4年時(昭和34年)に全日本学生体操競技選手権大会で団体優勝を飾り、またオリンピックローマ大会の日本代表選手(女子)を出すなど優秀な学年でした。大学教授で博士号に輝いた者、高校の校長をつとめた者など多士済々の「サンゴ会」です。

(文・写真：藤本昌男)



◆東京教育大学空手部・筑波大学空手道部OB会(桐花会)の総会

とき 平成29年9月16日(土)
 ところ 茗溪会館

年に一度の総会、お互いの近況を語り、世代を超えて交流を行うことができました。最後は恒例の宣揚歌(桐の葉)と空手部哀歌、そして押忍三唱で締めました。(桐花会事務局 岩佐隆司)



「桐の葉のつどい」の掲載について

以下の要領で写真と原稿をお寄せください。

- (写真) フィルムカメラ、デジタルカメラのいずれでも構いません。紙焼きでも、デジタルカメラの場合はデータをメールでお寄せいただいても結構です。
- (文章) グループの名称、お集まりになった「とき」「ところ」を別項にして、必ずお書きください。会の模様を紹介する文章は31字×5行以内でお願い致します。

占春園復活寄附金募集の趣意

今、嘉納治五郎先生が見守るあの「占春園」の荒廃が進み、現在は「立入禁止」となり整備が停滞している状況です。

そのためIOCバッハ会長も筑波大学東京キャンパス(茗荷谷)を訪れた際に占春園を目にすることが出来ませんでした。

このような状況を鑑み、茗溪会主導で「占春園」の復活を提案していきたいと思っております。

卒業生の皆様のご協力を期待しております。



詳細は茗溪会ホームページをご覧ください。
<http://www.meikei.or.jp>

瑞宝中綬章	柳川 協	32年教大健	33年専攻健
深石 一夫	36年教大地	38年院修地	
布川 護	37年教大院修数		
瑞宝小綬章	岡上登喜男	33年教大國	
立田 六助	35年教大農		
宮本 良一	29年教大農		

平成29年高齢者叙勲6月(追記)

※本欄は、各地域からの調査報告により掲載しております。もし記載もれがある場合は、事務局までお知らせください。

(千葉) (千葉群馬) (愛媛岡山)

◆東京教育大学教育学科昭和34年卒「桐の会」

とき 平成29年5月12日(金)
ところ 茗溪会館

「桐の会」は毎年春の連休明けの最初の土曜日に20年以上にわたり集まっています。今年は会場の都合で5月12日になりましたが6名が元気に集まりました。(馬場信昭)



◆昭和31年卒教大理学部生物学科「植物学専攻」最終クラス会

とき 平成29年5月22日(月)
ところ つきじ植むら(お茶の水・ガーデンパレス)

私ども「植物学専攻」昭和31年卒業生は20名でしたが、すでに7名が他界しました。このたび8名の参加をもって最後のクラス会を開きました。懐かしい往時の話に時が過ぎ、クラス会でなくても元気にまた会う機会を持ちたいと別れました。(世話人：森江晃三)



◆東京教育大学農学部土木学科昭和36年卒業「三六会」

とき 平成29年6月10日(土)
ところ 「深川不動」ほか散策

昼食は深川めしで有名な「みや古」にて。年と共に体調不良が多くなって参加者が少なくなってきています。(幹事：田村正義)



◆第10回大塚人文地理学OB会

とき 平成29年7月9日(日)
ところ アルカディア市ヶ谷(私学会館)

大塚およびつくばの地で人文地理学を学び、大学その他で研究と教育に携わってきた60歳以上の東京および関東在住者を中心とした交流会で、18名が参加しました。それぞれが現在何に取り組んでいるかを熱っぽく語り、楽しい会になりました。

(写真：内山幸久 記：田林 明)



◆教衛会(教大体育学部運動衛生学研究室S43年入学有志の会)

とき 平成29年8月23日(水)~24日(木)
ところ 信州春日温泉「もちつき荘」

運動衛生学研究室の有志で始まった教衛会も今年で6年目、他の研究室からも加わり今回は8名の参加でした。信州春日温泉で学生時代の懐かしい話に大いに盛り上がり、翌日は高原ゴルフで腕を競い合い?ました。今回も来年の再会を約束し散会しました。

(写真：野村良和 幹事：小島昭英 文：島田悦郎)



◆教大体育学部 昭和35年卒 バレーボール部同期の集い

とき 平成29年9月4日(月)~5日(火)
ところ 浜名湖かんざんじ温泉「鞠水亭」

35年卒にちなんで「珊瑚会」と名づけ、毎年それぞれの出身地近くの都県で開催している男性5名(男性は奥様同伴)、女性1名の同期の集まりは、今年で第15回目を迎えました。家庭的雰囲気のおかげで、これからも元気である限り、会を続けていこうと誓い合い散会しました。(写真：松澤 明、文責：川田(旧姓 栗原)節子)



追悼録 (敬称略)

長里 繁仁 18理一 29・1・27
 〒192-0916 八王子市みなみ野1-11-4-111 妻 長里 千彩
畑田 勇 20理二 28・10・23
 〒583-0874 羽曳野市郡戸1-1 長男 畑田 勇二
向井 克憲 21農教 28・8・8
 〒584-0072 富田林市高辺台3-11-35 長女 向井 令子
齊藤 知善 22理二 29・6・5
 〒981-8003 仙台市泉区南光台5-22-25 妻 齊藤マヌエ
藤瀬 兼男 22体専臨 28・10・29
 〒467-0874 名古屋市瑞穂区太田町2-2-1 妻 藤瀬三恵子
皆川 卓三 23大教 29・6・17
 〒165-0033 中野区若宮3-21-21 長男 皆川 龍三
野崎 康夫 23文二 29・6・5
 〒195-0071 町田市金井町2612-49 妻 野崎 町子
大畑 恵一 24農教 29・4・4
 〒151-0063 渋谷区富ヶ谷2-12-18 長男 大畑 貴裕
渡辺 弘 24文五 29・7・10
 〒400-0033 甲府市寿町14-4 長男 渡辺 修
石原久邇雄 24農教 28・6・4
 〒444-0826 岡崎市若松町16-27 長男 石原 寿郎
佐藤 昭男 25体 29・5・8
 〒984-0065 仙台市若林区土樋84-1 妻 佐藤寿美子

逝去会員氏名・卒年科・逝去年月日・遺族住所・氏名

奥井 利一 28教大植 29・6・21
 〒270-0032 松戸市新松戸北1-16-7 長男 奥井 雅士
白井 三恵 29教大教 29・5・22
 〒223-0057 横浜市港北区新羽町1753-205 妻 白井 道子
松本 治彦 29教大農教 29・5・19
 〒347-0045 加須市富士見町14-12 妻 松本 孝子
佐々木周榮 30教大数 29・3・18
 〒990-0021 山形市小白川町1-18-8 妻 佐々木和子
後藤 至考 31教大教 29・1・21
 〒683-0021 米子市石井763 長男 後藤 成宏
平井 雄 31教大物 29・4・28
 〒192-0373 八王子市上柚木3-3-5-403 長女 高山千佳子
西海 隆治 31教大農化 29・7・19
 〒368-0033 秩父市野坂町2-13-46 妻 西海トシ子
野田 誠 32教大体 29・1・24
 〒193-0803 八王子市檜原町420-2 妻 野田 訓子
滝沢 強一 33教大國 29・3・21
 〒950-2054 新潟市西区寺尾東1-8-6 妻 滝沢 鈴子
石川 利一 48教大教 29・6・7
 〒981-1231 名取市手倉田八幡45-8-201 妻 石川 敏子
中嶋 優治 54筑体 28・10・30
 〒545-0042 大阪市阿倍野区丸山通2-2-16 妻 中嶋有希子



Service Safety Sincerity
 あなたのそばに。セキショウグループ。

SEKISHO
 Energy for your Life

当社は「一般財団法人 関彰育英会」を通して、筑波大学大学院博士後期課程の院生に、研究支援として奨学金の支給を行っております。



関彰商事株式会社

代表取締役社長 関 正樹 (学校法人 若漢学園理事)

つくば本部 / 茨城県つくば市二の宮 1-23-6 TEL 029-860-5151

若漢会担当: 常務執行役員 人事部長 岡本 俊一
 (昭和56年 第一学群 社会学類 卒業)

<http://www.sekisho.co.jp/>



安全に、快適に、正確に

OZONE 大曾根タクシー株式会社

取締役社長 塚本 一也

(平成3年環境科学研究科修了)

☆24時間営業

☆お迎え料金無料

☆カード利用OK!

☆貸切バス事業者より

安全性評価認定(★★★)されました



〒300-3261 茨城県つくば市花畑3丁目19-4

TEL 029-864-0301

FAX 029-864-4727

メールアドレス <http://www.taxi.e-tasukuba.jp>

フリーダイヤル 0120-000-302

各営業所に通じます

平成29年10月15日

平成30・31年度 代議員選挙公示

一般社団法人茗溪会 選挙管理委員会

定款では、代議員が法律上の社員となり社員総会の議決権を持つと定められており、代議員の選任は全正会員からの立候補及び推薦による候補者を全正会員の投票により選出することになっております。代議員選挙規程に基づき下記の通り選挙を実施します。

記

- 1 代議員定数99人（平成29年4月1日現在正会員数による）
- 2 立候補手続き（①立候補者）
 - (1) 立候補資格…本会正会員（最近2年間の会費納入者または完納者）
 - (2) 立候補の条件…所属する地域組織等の3名以上の正会員の推薦
 - (3) 手続き…立候補届（様式6-1）を所属の地域組織等の長に提出
 - (4) 立候補締切り…11月6日（月）
- 3 推薦手続（②推薦候補者）
 - (1) 被推薦者の資格…本会の正会員
 - (2) 推薦の条件…正会員3名以上の推薦
 - (3) 手続き…候補者推薦書（様式6-2）を地域組織等の長に提出
- 4 地域組織等のとりまとめ
 - (1) 地域組織等の長は候補者名簿（様式7）を選挙管理委員会に提出
 - (2) 提出期限（地域組織等から本部へ）…11月20日（月）
- 5 候補者名簿 季刊誌「茗溪」正月号に同封、投票用紙を郵送。候補者数が代議員定数以内の時は候補者をもって当選とする。
- 6 投票…正会員は、投票用紙を選挙管理委員会宛てに郵送する。投票メット…2月10日（土）
- 7 当選代議員公示…季刊誌「茗溪」春号に掲載

「筑波大学新聞」10月号を同封します

昨年引き続き「筑波大学新聞」10月号を同封します。筑波大学の様子が詳しく掲載されておりますのでお読みください。

訂正

前号（平成29年夏号）で誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

P12 特集 下段 5行目

(正) 1896年（誤）1986年

P22 桐の葉のつどい 右列 2段目 14行目

(正) 柴崎正行（誤）芝崎正行

P25 追悼録 左列 4行目

(正) 石井 睦蔵（誤）石井 睦三

公益財団法人 柴田育英会だより

茗溪会元理事長の柴田周吉氏が設立した柴田育英会の「奨学生懇談育成会」が、10月1日（日）奨学生7名、奨学生OB3名、役員10名の参加をもって、茗溪会館で開催されました。

表紙の言葉 デザイン 茗溪会副理事長 西川 潔

筑波大学でもっとも多くの人々が利用するのはキャンパス南端の松美口だろう。松美口はTXつくば駅から歩いて20〜30分の所にある。もっともキャンパスが南北4kmあるから、どこに行くにもそこからが大変である。写真は松美口から北にしばらく行き、ループ道路に繋がる手前で撮った。ゆりのきは40年で驚くほど成長し、並木の道路は昼でも薄暗い。しかし、撮影地点に近づくと空が開けてくる。加えて秋は色づいたイチョウが暗い中から見えてきて、季節のうつろいを強く感じさせる。他に誇れる美しいキャンパスである。

編集後記

◇特集「人間嘉納治五郎を語る」も第2回となり、今回は山口香さんをお迎えして、柔道家としての嘉納治五郎に焦点を当てています。嘉納治五郎は柔道を単なる格闘技としてではなく、その教育的価値に注目し、早くから柔道の門戸を女性にも開放していたというのは驚きでした。

◇今年も9月2日に「追悼のつどい」が大塚で開催されました。ご遺族の皆様のお話から、故諸先輩方の茗溪会に対する熱い思いが伝わってくる集まりでした。

お願い

- ・正確な会員情報把握のために、住所、勤務先の変更はすぐにご連絡ください。
- ・年会費のお振込みは、早めにお願いたします。

平成29年10月15日発行

発行 一般社団法人 茗溪会

茗溪会事務局・大塚事務所

TEL 03-3394-1153

TEL 03-3394-1136

FAX 03-3394-1767

Email info@mekei.or.jp

URL http://www.mekei.or.jp

郵便振替記号番号 00150-24977

筑波事務所

305-8777 つくば市天王台1-1-1

筑波大学・大学会館内

TEL 029-850-1044

FAX 029-850-1045

Email tsujinu@mekei.or.jp

印刷 東京都文京区関口1-29-10

山浦印刷株式会社

予告

次号(正月号・1096号)

◇平成29年夏号(1094号)から始

まった「人間 嘉納治五郎を語る」

特集も、次号の「教育のこと、天下

これより偉なるはなし」教育者とし

での「嘉納治五郎」が最終回です。

数々の教育改革にとりくんだ嘉納

治五郎の足跡をたどりながら、彼の

教育に懸けた思いに迫ります。

◇茗溪会賞のご紹介(顕彰式・受賞者)

◇公開講座のご報告も予定しています。

9月23日に筑波地区で行われた藤

原保明先生の英語の話第16弾「動詞

の語形変化のなぞを探る」です。

◇秋の叙勲受章者のご紹介

◇その他

正月号(1096号)は平成30年1月

15日発行予定です。

 <p>株式会社 阿部兄弟建築事務所 http://abeoffice.co.jp</p>  <p>〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-3-9 高木ビル 代表取締役 荒井 豊人 (昭57 筑基工) TEL 03-3866-4181 FAX 03-3866-4120</p>	<p>経営・労務・年金etc. コンサルタント 福岡経営労務事務所 〒125-0042 葛飾区金町3-27-3 TEL 03(3607)0551 FAX 03(3607)0551</p> <p>所長 福岡 一雄 (32教大法政) 社会保険労務士</p>	<p>大塚英語教育研究会 入会歓迎！英語(文学・語学・教育)に興味ある方 筑波大文京校舎で月例の英文講読・講演等を実施 ホームページ http://otsuka.news.cocan.jp/ 代表 藤原 保明 (昭48教修英 平3筑博文言) E-mail: yyysstpf@mail.accsnet.ne.jp</p>
 <p>永井建設株式会社 〒273-0115 千葉県鎌ケ谷市東道野辺3-1-7 電話 047(443)7908 FAX 047(443)7940 営業部長 高野 力 (昭48教大木工)</p>	<p>印刷・製本までトータルに対応 株式会社 ケイエスアイ 東京営業所 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-3-1 東京フジビル502号室 TEL 03-5357-1668 FAX 03-5357-1669</p>	 <p>株式会社 長谷工 コーポレーション 〒105-8507 東京都港区芝2丁目32番1号 電話 03(3456)1578 常務執行役員 植岡 祥之 (昭57筑社工)</p>

つくばでの宿泊・研修に

ご家族で、お仲間

最大収容180名、お一人3,700円から
茗溪会員とご家族に割引あり
研修セミナー・サークル発表会・各種会議・学習合宿・部活動合宿に
シングル145室ツイン5室和室5室/研修室2室(120・40名)
和室も研修室として利用可(20畳、10畳)
館内食堂《こうせい》でパーティ・懇親会等(数名から80名まで)

アクセス 秋葉原駅からつくばエクスプレスで45分「つくば駅」下車
●バス/「筑波大学循環」3丁目「筑波メディカルセンター前」下車
徒歩8分●つくば駅からタクシー/5分

一般財団法人筑波学都資金財団
筑波研修センター
〒305-0005 茨城県つくば市天久保1-13-5
TEL 029-851-5152 / FAX 029-851-8886
http://www.meikei.or.jp/~center e-mail:center@meikei.or.jp




あれもこれも、憧れが叶う。 一日一組、全館貸切 東京・文京区、結婚式場。

嘉ノ雅茗溪館
メール会員募集中

入会金・登録料・更新料0円

右のQRコードを
スマホで読み取り、
空メールを送信。
これだけで登録OK!



昭和初期、日本の学問や教育向上のために
建てられた名門の会館である「茗溪会館」は、
かつて花嫁たちの憧れの式場でした。
その会館が今、フランコイタリアンのお料理を愉しむ、
全館貸切のプライベート結婚式場と生まれ変わり、
あなただけのオリジナルウエディングを叶えていきます。

筑波大学
在校生・卒業生
関係者
ご優待特典

【ご婚礼】

費用総額より5%引き
その他、期間限定プランなど、季節に
応じた特典も多数ご用意しております。

【お食事】

飲食合計より10%引き
ご家族様、ご親族様もご利用可能。
※カフェでのご利用は対象外です



かのび 嘉ノ雅 茗溪館 めいけい かん

Restraunt & Cafe ~レストラン・カフェのご利用も~ | ~パーティー・会議でのご利用も~ Party & Meeting

東京メトロ丸ノ内線

営業時間/11時~20時(火曜定休)

「茗荷谷」駅 徒歩1分 TEL.03-5319-1888

かのび

検索

キューピッドの結婚には、数えきれない感動がある。

「大切な人に勧めたくなる。」

妹に、兄に、親友に、同僚に、親戚に。
なぜ、キューピッドで結婚したカップルは、
大切な人に入会を勧めるのでしょうか。

それは、確かな幸せを実感しているから。
勧められた方は、キューピッドの出会いが
スマートで安心できることに納得する。

良い人が良い人を呼ぶ“幸せのバトンタッチ”。
キューピッドは、結婚を誠実に考える人の輪を、
静かに広げる会員制クラブです。



ご婚約

検索

ご結婚カップルの真実の言葉を確認できます。
●キューピッドスタッフブログを毎週更新中。

キューピッドの 結婚

キューピッドは慶應義塾大学OB会の親睦パーティから発足して37年。結婚を誠実にお考えの方限定の会員制クラブです。

■パンフレット「The Cupid Style」をお気軽にご請求ください。

☎ 0120-0333-82

■入会資格

結婚を誠実にお考えの独身の方

●男性 25～45歳、定職におつきの方。●女性 20～40歳

※入会に際して審査があります。

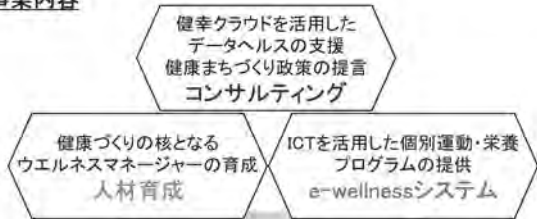


日本の心の文化を受け継ぐ結婚
Cupid Club

〒104-0061 東京都中央区銀座4-2-11ヒューリック銀座数寄屋橋ビル7F 03-5524-3555 公式ホームページ www.cupid.co.jp

TWR
つばウエルネスリサーチ
「日本全国を元気にする！」
超高齢化社会に伴う健康課題に対して、
筑波大学の研究成果に基づく健康サービスを提供しています。

事業内容



地域の健康度の改善
医療費の適正化

ビジネスモデル



求人募集中！
一緒に日本を元気に
しませんか？

株式会社つばウエルネスリサーチ <http://www.twr.jp/>
〒277-8519 千葉県柏市若柴178番地4 KOIL505
Tel: 04-7197-2360 Fax: 04-7197-2361

■採用情報：新卒・中途採用など様々な人材を求めています！詳細はHPをご覧ください



桜美林大学
J. F. Oberlin University

リベラルアーツ学群 / 健康福祉学群
ビジネスマネジメント学群 / 芸術文化学群
グローバル・コミュニケーション学群(2016年開設)

桜美林学園 理事長・学園長 佐藤 東洋士
学長 三谷 高康
入試事務室相談役 川田 孝一 (昭39 教大総農)

【お問合せ先】
〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758
桜美林大学インフォメーションセンター
Tel.042-797-1583 E-mail:info-ctr@obirin.ac.jp



東京ビジネスホテル
茗溪会東京宿泊所

茗溪会会員割引料金 (税サ込)

- シングルB (バス・トイレ共同)
¥ 6,500→平日¥ 4,800 休前日¥ 5,800
- シングルA (バス・トイレ付)
¥ 8,200→平日¥ 6,200 休前日¥ 7,200
- ツイン (バス・トイレ付)
¥13,800→平日¥ 9,800 休前日¥12,800
- 朝食バイキング ¥ 1,050→¥ 760
- 大浴場時間 : 6:30~9:00 17:00~01:00



東京都新宿区新宿6-3-2
TEL 03 (3356) 4605
FAX 03 (3356) 4606

地下鉄丸ノ内線 新宿御苑前駅 1番出口
都営新宿線 新宿三丁目駅 C7出口
地下鉄副都心線 新宿三丁目駅 E2出口
} より徒歩7分
JR新宿駅より車5分



Living Together

共生をテーマに、
人と環境の理想的な未来を

◆新菱冷熱
www.shinryo.com

Meikei-
Making
the
Difference



Meikei
High School

茗溪学園中学校高等学校

* 茗溪学園は 1979 年に茗溪会の百周年記念事業で生まれた学校です

- ◆ 寮のある学校です
- ◆ 国際バカロレア (IB) 認定校です
2017 年 4 月から IBDP 課程開始
- ◆ 「知識」「体験」「考え方」
——とことん学び身につけます
- ◆ 部活動が盛んな文武両道の学校です

2018 年度 茗溪学園入学試験日程

中学グローバルコースAO入試
12月6日(水)、1月7日(日)
中学推薦入試・中学帰国生入試 12月16日(土)
中学一般入試(第1回) 1月7日(日)
中学一般入試(第2回) 1月27日(土)
高校帰国生入試 12月6日(水)、12月16日(土)
高校推薦入試 1月9日(火)
高校一般入試 1月27日(土)
高校1B入試 1月27日(土)
(詳細はホームページなどでご確認ください)



アクセス つくばエクスプレスTX つくば駅A3A4出口 バスターミナル4番のりば「ひたち野うしく行」バス、
「環境研究所」下車徒歩5分 または JRひたち野うしく駅 東口バス乗り場「つくばセンター行」
e-mail kouhou@meikei.ac.jp (見学等) entry@meikei.ac.jp (入試等)